

§ 5 学力検査問題等研究協議会における主な意見

1 出願の手續に係る書類について

道教委が作成した「道立高等学校を受検する生徒・保護者の皆さんへ～特別な配慮を必要とする生徒の出願について～」を活用したことにより、生徒や保護者が特別な配慮を希望する場合の対応について、中学校と高等学校との連携が十分に図られるとともに、高等学校において適切な配慮がなされた。

2 学力検査問題について

- ・ 国語では、各領域のバランスを踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能を問う問題と思考力、判断力、表現力等を問う問題がバランスよく適切に出題されていた。今後も、受検者が思考したり、判断したり、表現したりする力を適切にみるとともに、社会生活における人との関わりの中で必要な国語の力を問う問題等の出題形式について一層工夫してほしい。
- ・ 数学では、各領域において、基礎的・基本的な知識・技能や、思考力、判断力、表現力等を問う問題がバランスよく適切に出題されていた。今後も、解決の見通しをもつとともに、その解決が正しいことを確かな根拠から論理的に考察する力をみる問題を継続して出題してほしい。
- ・ 社会では、初見の史資料等から情報を読み取り、既習の知識と関連付けて思考、判断する問題や、思考したことを論理的に説明する問題が適切に出題されていた。今後も、社会的な見方・考え方を働かせながら思考させたり、思考、判断したことを適切に説明させたりする問題の出題形式について一層工夫してほしい。
- ・ 理科では、基礎的・基本的な知識・技能を問う問題と思考力、判断力、表現力等を問う問題がバランスよく適切に出題されていた。今後も、観察、実験を取り上げ、知識・技能を活用させる問題や科学的な見方・考え方を働かせて考察させる問題の出題について一層充実させてほしい。
- ・ 英語では、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、知識及び技能を活用する問題や、聞いたり読んだりして得られた情報を踏まえて、事実や自分の考え、気持ちなどを表現する問題が適切に出題されていた。今後も、社会で起こっている出来事や問題など幅広い話題を意識した問題の出題や、思考力、判断力、表現力等をより適切に測るための採点基準について検討してほしい。